

タイムスケジュール

	第1会場 (1階 小ホール)	第2会場 (3階 研修室)	ポスター展示 (1階 ギャラリー1)	企業展示 (1階 ギャラリー1)
9:30			9:30～10:30	
10:00	10:00～10:10 開会式		ポスター貼付	10:00～16:50
10:30	10:10～10:55 一般口演1 医療安全 O1-1～O1-6 座長：高橋由美子	10:10～10:55 一般口演2 地域連携と医療の質 O2-1～O2-6 座長：中尾健太郎	10:30～15:15	
11:00				
11:30	11:05～11:50 一般口演3 病院運営、管理、経営 O3-1～O3-6 座長：高橋 寛	11:05～11:50 一般口演4 医療人材と連携 O4-1～O4-6 座長：武田 玲子		
12:00				
12:30	12:05～13:05 ランチョンセミナー 糖尿病診療における 病診連携の現状と展望 演者1：田島 一樹 演者2：辻野 大助 座長：山田 昌代 共催：アボットジャパン合同会社		ポスター閲覧	
13:00				
13:30	13:15～14:00 一般口演5 医療提供体制の改革 O5-1～O5-6 座長：村田 升	13:15～14:00 一般口演6 医療の質 O6-1～O6-6 座長：横田 弘子		企業展示
14:00				
14:30	14:10～15:10 特別講演 2040年を展望した医療の姿 演者：吉田 学 座長：宇治原 誠			
15:00				
15:30	15:20～16:50 シンポジウム DXを用いる医療提供体制の改革 演者1：陣崎 雅弘 演者2：長堀 薫 演者3：折登 剛 座長：三角 隆彦	15:15～16:00 一般口演7 診療情報と医療の質 O7-1～O7-5 座長：藤井 義郎	15:15～16:05 ポスター発表 P1 座長：稲村ほづみ P2 座長：北原日美紀 P3 座長：長嶺弘太郎 P4 座長：新野 史	
16:00				
16:30		16:10～16:55 一般口演8 リスク管理とコロナの経験 O8-1～O8-6 座長：服部 智任	16:05～17:00 ポスター閲覧	
17:00	16:55～17:00 閉会式		17:00～17:30 撤去	16:50～17:50
17:30				撤去
18:00				

プログラム

第1会場(1階 小ホール)

開会式 ————— 10:00 ~ 10:10

開会挨拶：第23回学術集会会長

宇治原 誠 (独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター 院長)

支部長挨拶：日本医療マネジメント学会神奈川県支部 支部長

山本 登 (医療法人五星会 菊名記念病院 理事長)

一般口演1「O-医療安全」 ————— 10:10 ~ 10:55

座長：高橋由美子 (大倉山記念病院)

- O1-1 生体情報モニタのテクニカルアラーム減少を目指した多職種協働の成果
高澤智桂子 (東海大学医学部付属病院 看護部)
- O1-2 耐用期間を超えたベッドサイドモニタの安全指標の提案
野川 悟史 (昭和大学藤が丘病院 臨床工学室)
- O1-3 済生会横浜市南部病院における入院患者に対する内服自己管理アセスメントシートの使用実態について
上原 美佐 (済生会横浜市南部病院 薬剤部/医療安全管理室)
- O1-4 手術室におけるルートトラブル予防の取り組み
高久 祐子 (国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 中央手術室)
- O1-5 看護師の内服与薬業務における誤薬を減少させる取り組み
大芝小百合 (国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 看護部)
- O1-6 救命救急センターからのインシデントレポートの分析に基づいた安全対策の検討と介入
河西 史勝 (聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター)

一般口演3「O-病院運営、管理、経営」 ————— 11:05 ~ 11:50

座長：高橋 寛 (昭和大学藤が丘病院)

- O3-1 プラザ外来でのラウンドナースの取り組み
木村 圭 (海老名メディカルプラザ 看護部)
- O3-2 人間中心設計の枠組みによる患者満足度 (PS) と患者体験価値 (PX) の再概念化
飯塚 重善 (神奈川大学 経営学部)
- O3-3 A 大学病院の化学療法室における待ち時間短縮に向けた取り組み
星野 真紀 (東海大学医学部付属病院)
- O3-4 ICUにおける算定率向上と看護必要度を意識した病床管理
阿部 淳子 (国立病院機構横浜医療センター ICU)
- O3-5 物価高に対する横浜医療センターの取り組みの実施と考察
今 大基 (国立病院機構横浜医療センター 経営企画室)
- O3-6 病院経営における業務量達成予測による目標管理手法の検討
原 怜大 (医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院 品質管理室)

プログラム

ランチョンセミナー ————— 12:05～13:05

座長：山田 昌代（横浜栄共済病院）

糖尿病診療における病診連携の現状と展望

糖尿病地域医療連携の取り組み -QOLを意識した治療を目指して-

田島 一樹（国立病院機構横浜医療センター）

糖尿病病診連携の現状と展望 -糖尿病専門クリニックの立場から-

辻野 大助（東戸塚糖尿病内科クリニック）

一般口演5「O-医療提供体制の改革」————— 13:15～14:00

座長：村田 升（菊名記念病院）

O5-1 患者教育パンフレットの標準化と効率化に向けた取り組み

守屋 優一（東海大学医学部付属病院 看護部主任会）

O5-2 自動送信導入前後のTATの推移と今後の見直し

木村 元紀（国立病院機構横浜医療センター）

O5-3 DPC期間と退院阻害因子を可視化したツールを活用した退院調整マネジメントについて

疋田麻衣子（社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院
患者サポートセンター）

O5-4 後方連携ならびに在宅復帰における介護タクシー手配業務の医療従事者の負担軽減

芦原 教之（医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院）

O5-5 BOM.Ver2022 導入プロジェクト

-多職種との連携-

阿部 佑香（横浜労災病院 医事課 診療情報管理室）

O5-6 SFC 勤怠管理システムを活用した、年次休暇の電子申請について

亀井 利晃（国立病院機構横浜医療センター 管理課職員係）

特別講演 ————— 14:10～15:10

座長：宇治原 誠（横浜医療センター）

2040年を展望した医療の姿

吉田 学（多摩大学 医療・介護ソリューション研究所）

シンポジウム ————— 15:20～16:50

座長：三角 隆彦（済生会横浜市東部病院）

DXを用いる医療提供体制の改革

医療DXの現状と課題

陣崎 雅弘（慶応大学 放射線科学）

プログラム

地域中核病院が進める医療 DX

長堀 薫 (国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院)

都市型医療介護情報連携ネットワーク「サルビアねっと」

折登 剛 (済生会横浜市東部病院)

閉会式 ————— 16:55 ~ 17:00

閉会挨拶：第 23 回学術集会会長

宇治原 誠 (独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター 院長)

次期学術集会会長挨拶：第 24 回学術集会会長

高橋 寛 (学校法人昭和大学 昭和大学藤が丘病院 病院長)

第 2 会場 (3 階 研修室)

一般口演 2 「O-地域連携と医療の質」 ————— 10:10 ~ 10:55

座長：中尾健太郎 (イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院)

O2-1 地域連携 渉外担当の役割

— 摂食嚥下外来の取り組み —

今川 康正 (済生会 東神奈川リハビリテーション病院)

O2-2 地域医療連携課の訪問活動の活性化と業務改善について

河合 温子 (横浜未来ヘルスケアシステム 戸塚共立第 1 病院)

O2-3 循環器・脳疾患の患者をマネジメントするお薬手帳シールの活用

杉本 匠 (東海大学医学部付属病院 薬剤科)

O2-4 当院における転院患者の長期入院要因の検討

高瀬 昌浩 (国立病院機構横浜医療センター 相談支援センター (医療ソーシャル
ワーカー))

O2-5 歯科のない急性期病院における医科歯科連携の成果と現状

櫻井 春美 (横浜未来ヘルスケアシステム 戸塚共立第 1 病院)

O2-6 医療マネジメントから口腔ケアを考える

根岸 明秀 (国立病院機構横浜医療センター 歯科口腔外科)

一般口演 4 「O-医療人材と連携」 ————— 11:05 ~ 11:50

座長：武田 玲子 (海老名総合病院)

O4-1 済生会横浜市南部病院薬剤部見学会の評価と学生動向

平間 盛吾 (済生会横浜市南部病院 薬剤部)

プログラム

- 04-2 急激な部署のスタッフ編成の変化に起因したチームの結束力低下に対し管理者が仕掛けた
チームングの実践報告
松尾 智子（社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院
救命救急センター）
- 04-3 タスクシェア推進に向けた院内救急救命士による特定行為習得における仕組み作りの実践報告
藤田 大介（社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院
救命救急センター）
- 04-4 二次性骨折予防継続管理料算定による骨粗鬆症加療の変化
堀 莉彩（国立病院機構横浜医療センター 整形外科）
- 04-5 外来における MSW との連携
ー外来棟ラウンドの第一歩ー
成川 浩子（海老名メディカルプラザ 看護部）
- 04-6 入退院調整センターにおける入院前の予定手術患者との関わりから退院を見据えて
末木 真美（国立病院機構横浜医療センター 看護部 入退院調整センター）

一般口演 6 「O-医療の質」 13:15～14:00

座長：横田 弘子（東海大学付属病院）

- 06-1 フォーマリリーの策定は実際の処方動向にどの程度の影響を与えたか？
小井土啓一（国立病院機構横浜医療センター 薬剤部）
- 06-2 手術室専任薬剤師による周術期薬剤管理に関する調査
藤巻 智則（済生会横浜市南部病院 薬剤部）
- 06-3 バーコード認証システム（F-WAVE®）を用いた医薬品ピッキング業務の業務技術員への
タスクシェア
大城 絢子（国立病院機構横浜医療センター 薬剤部）
- 06-4 電子カルテシステム変更に伴う医療用麻薬適正管理に向けた当院での取り組み
佐々木美理（済生会横浜市南部病院）
- 06-5 院内栄養管理体制の改定による栄養管理業務の効率化
清水 伸明（国立病院機構横浜医療センター 栄養管理室）
- 06-6 クリティカルパス事務局の取り組み
ー意識調査アンケートの実施と動画配信からの課題ー
矢木 悦子（医療法人五星会 菊名記念病院 看護部）

一般口演 7 「O-診療情報と医療の質」 15:15～16:00

座長：藤井 義郎（横浜医療センター）

- 07-1 電子カルテ入力不足に対する取り組み
石見 千夏（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター）
- 07-2 診療記録の質的監査
ー追跡調査から見えたことー
栗田 千恵（済生会横浜市東部病院 診療情報管理室）

プログラム

- 07-3 入院診療記録監査（質的点検）の活動報告
吉田 崇志（横浜労災病院 医事課 診療情報管理室）
- 07-4 レセプト点検に本部職員が介入した効果について
吉尾 勝昭（戸田中央メディカルケアグループ本部 横浜支部）
- 07-5 悪性腫瘍特異物質治療管理料のオーダー率を上げるための当院の取り組みについて
藤井 義郎（国立病院機構横浜医療センター 診療録管理委員 外科）

一般口演 8 「O-リスク管理とコロナの経験」 16:10～16:55

座長：服部 智任（海老名総合病院）

- 08-1 完全停電に対する防災訓練から得たコメディカルによる医療施設防災体制の検討
小宮 佑介（東海大学医学部付属病院 臨床工学技術科）
- 08-2 CT 検査におけるヨード造影剤副作用の発生因子についての検討
櫻井 華（昭和大学藤が丘病院 放射線技術部）
- 08-3 当院 RRT の活動の現状と今後の課題
－夜勤帯の予定外 ICU 入室患者数からの評価－
北島由紀子（医療法人五星会菊名記念病院 看護部）
- 08-4 当院における COVID-19 関連検査の体制と実績
高橋 秀彰（横浜未来ヘルスケアシステム 戸塚共立第 1 病院 検査科）
- 08-5 病院職員における体調不良者の新型コロナウイルス感染症罹患に関する実態調査
深瀬 史江（国立病院機構横浜医療センター 感染制御部 看護部）
- 08-6 COVID-19 感染患者の受け入れ病棟の副看護師長が直面する問題とその対応
－第三波後のインタビューを通して－
村山 純一（国立病院機構横浜医療センター 統括診療部 整形外科 泌尿器科）

ポスター展示(1階 ギャラリー1)

15:15～16:05

ポスター発表 1

座長：稲村ほづみ（平塚市民病院）

「P-医療安全」

- P1-1 看護管理者のリスクマネジメントスキル向上を目指した院内仕組みつくりの実践報告
和地いつみ（社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院 看護部）
- P1-2 5S の視点で見直した持参薬管理
伊藤 万里（国立病院機構横浜医療センター 看護部）
- P1-3 気管チューブ固定
－アクリルモノマーアレルギーを持つ手術患者への対応－
三輪 佳織（国立病院機構横浜医療センター 看護部）

プログラム

「P-クリティカルパス」

- P1-4 多職種と連携し医療の質を高める取り組み
ーパスを基点にみんなで連携を強めようー
長田 美風（国立病院機構横浜医療センター 看護部）
- P1-5 入院診療計画書一体型パス導入による業務改善
直江 愛（国立病院機構横浜医療センター 看護部）
- P1-6 膣体尾部切除術のクリティカルパス導入による術後短期成績の検討
小粥 真実（国立病院機構横浜医療センター 外科）

ポスター発表 2

座長：北原日美紀（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院）

「P-連携とタスクシェア」

- P2-1 病棟での看護補助者と看護師のタスクシェア、タスクシフトに向けた取り組み
岡田 陽子（国立病院機構横浜医療センター 東5病棟）
- P2-2 骨粗鬆症リエゾンサービス（OLS）の取り組み
三戸森沙紀（国立病院機構横浜医療センター 看護部）
- P2-3 A病院救命救急センターにおける ECPR 体制構築へ向けた取り組み
室岡 知世（社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院
看護部救命救急センター）

「P-医療人材」

- P2-4 コロナ禍で基礎教育を受けた新人看護師に対する研修の工夫
田中 伸（昭和大学藤が丘病院 看護部）
- P2-5 職員満足度向上の取り組み
ー1日1日のベストスタッフ賞ー
矢野 隆（海老名メディカルプラザ 医療技術課 視能訓練科）
- P2-6 外国人看護師が安心して働くために管理者が取り組むべき課題
ー初めての「国際交流会」を通してー
村山 真弓（医療法人五星会菊名記念病院 看護部）

ポスター発表 3

座長：長嶺弘太郎（横須賀市立市民病院）

「P-病院運営」

- P3-1 横浜医療センターにおける働き方改革の現状と今後の課題について
細入 憲（国立病院機構横浜医療センター 管理課）
- P3-2 掲示、デジタルサイネージ等を活用した情報共有の取り組み
井口 梓（済生会横浜市東部病院 診療情報管理室）
- P3-3 リハビリテーション部門システム障害時の対応の再検討
嶋田 泰大（国立病院機構横浜医療センター リハビリテーション科）

プログラム

- P3-4 リアルタイムな病床状況可視化による効率的な病床コントロールを目指して
川上 香織（社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院
患者サポートセンター）
- P3-5 不当要求、迷惑行為を繰り返す患者に警告書を交付した事例について
鎌田 洋（国立病院機構横浜医療センター 事務部）
- P3-6 患者サービスへの取り組み
－変革する横浜医療センター－
黒崎 栄治（国立病院機構横浜医療センター）
- P3-7 職員健康診断業務委託の導入による成果
瀧口 美德（国立病院機構横浜医療センター）

ポスター発表4

座長：新野 史（横浜医療センター）

「P-医療の質」

- P4-1 NHF（ネーザルハイフロー）・新生児用人工呼吸器の中央管理化への取り組み
土谷 拓海（国立病院機構横浜医療センター 集中管理部）
- P4-2 病理検体保存期間に関する検討
新野 史（国立病院機構横浜医療センター 臨床検査科）
- P4-3 患者認識用リストバンド装着率向上への取り組み
－医療関連機器圧迫創傷（MDRPU）予防対策の側面から－
牧野麻希子（国立病院機構横浜医療センター）
- P4-4 統合失調症患者の疾病心理教育を導入して
畑垣 裕子（国立病院機構横浜医療センター）
- P4-5 アンギオ室において迅速な業務対応を行うための、医療材料・医療機器の整理整頓
大田黒皓也（国立病院機構横浜医療センター 集中管理部）

「P-感染管理」

- P4-6 CLABSI サーベイランスのデータ収集と今後の展望
－ J-SIPHE への登録を経験して－
清水 敦子（国立病院機構横浜医療センター 感染制御部）
- P4-7 CVC 挿入患者のシャワー浴時の挿入部保護方法についての検討（第1報）
小柏 和恵（公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター）